

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)新規・拡充事業の一覧表

★:新規事業・・・5事業

平成23年度に取り組んだ事業

| | 事業名 | 施策目標・分野 | 内 容 | 担当課 | 記載箇所 | 23年度実績 | |
|----|----------------------|---------------------------|---|----------|------------|---|--|
| ★1 | 京田辺市健康増進計画の策定及び実施 | 母と子の健康づくり支援 | 市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに健康でいきいきとした生活が維持できるよう、健康の指針を作成し健康増進及び推進を図る。 | 健康衛生健康推進 | P70 | 平成23年度健康増進計画・食育推進計画書発刊 健康増進計画・食育推進計画策定に係る「健康に関する市民意識調査」結果報告(市議会)およびホームページの掲載(パブリックコメントを実施) 協議会4回開催 ワーキング部会5回開催 | 当初の予定どおり「京田辺市健康増進計画・食育推進計画」を策定できた。 |
| ★2 | 食育推進計画の策定及び実施 | 〃 | 市健康増進計画の策定に併せて食育計画をたてる。 | 健康衛生健康推進 | P72 | 平成23年度健康増進計画・食育推進計画書発刊 健康増進計画・食育推進計画策定に係る「健康に関する市民意識調査」結果報告(市議会)およびホームページの掲載(パブリックコメントを実施) 協議会4回開催 ワーキング部会5回開催 | 当初の予定どおり「京田辺市健康増進計画・食育推進計画」を策定できた。 |
| ★3 | 子育て短期支援事業(ショートステイ事業) | 仕事と子育ての両立支援、子どもの虐待防止対策の推進 | 保護者が疾病、疲労その他の身体的若しくは精神上又は環境上の理由(父子家庭の父が長期出張等)により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や緊急避難として一時的に児童を養育・保護を行う為の短期間の施設での預かり事業。 | こども福祉 | P77 P90 | 未実施 | 後期計画期間中(平成26年度)までに実施予定であり、現在は、一時保育、ファミリーサポート事業で対応している。泊りのサービス提供がないため、平成25年度から実施する準備を進めていく。 |
| ★4 | 子ども手当の支給 | 心身を健やかに育む子育て環境の充実 | 子どもを養育している者に子ども手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの成長・発達に資する。中学生までの子どもを養育する保護者対象。 | こども福祉 | P84 | 支給児童 延べ113,844人 支給総額 1,410,183,000円 児童数 9,180人 受給者数 5,417人 | 10月から特別措置法が施行され、改めて申請手続きが必要となったが、支給対象者への制度変更・申請案内を行い、申請受付・支給事務が適正にできた。 |
| ★5 | 子どもの遊び場情報誌の作成 | 情報提供の充実、地域における子育て支援の推進 | 市内の自然や施設における遊び場を収集した情報誌を作成し子育て家庭に配布 | こども福祉 | P91 P92 | 子育てあそびばマップは同志社大学のロームプロジェクトに応募し、プロジェクトでの作成運営が決定する | 子育てあそびばマップは同志社大学ロームプロジェクトに位置づけ、学生主体でマップ作成を進められるよう行政が支援し共同実施の基盤を作った。 |

平成23年度に取り組んだ事業

| | 事業名 | 施策目標・分野 | 内 容 | 担当課 | 記載箇所 | 23年度実績 |
|----|---------------------------|---|--|--------|-------------------|---|
| ☆1 | 子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成 | 母と子の健康づくり支援、子育て情報提供、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり | 子どもの事故防止等救急対応に係わる衛生教育の実施及び救急処置に係わるパンフレットの発行。 | 子ども福祉 | P70 P76 P96 | 10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。619人 1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布。589人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」49名参加 健診の機会を利用して、90%以上の保護者に事故防止の喚起が定着した。 |
| ☆2 | 伝統食等の調理実習 | 母と子の健康づくり支援 | 児童館等において、郷土食の調理実習をつづじて伝統食を学ぶとともに、高齢者との交流を図る。 | 子ども福祉 | P72 | 「みたらしだんごをつくろう」(5月21日開催) 小学生13名参加 高齢者との交流はできなかったが、伝統食を取り入れた事業を実施できた。 |
| ☆3 | 保育所・幼稚園学校における食育事業 | " | 保育所通所児に食育事業を実施 幼稚園、学校等における食育の指導 食農体験・学校給食等における地元産野菜の導入 | 子ども福祉 | P72 | 各所とも行事食の実施、展示食の実施を行った 各所の給食において、地産地消の拡大を行った 給食だよりを年間12回発行 季節の食材を紹介したり、食習慣や食文化など年間を通して指導ができた。 おたよりや広報・ホームページなどを通じて市民に周知し、地域や家庭でも継続して実施できるような取り組みが必要。 健康増進計画・食育推進計画の策定により、ライフステージとおした食育を推進する方向性が明確となった。 |
| | | | | 学校環境整備 | | 市立小学校9校でしょくいくだより、こんだてだよりを年9回発行し食育の指導に努めた。 |
| | | | | 学校教育 | | 食に関する指導計画に基づく教科書横断的な指導を実施した。 |
| | | | | 農政 | | 普賢寺地域における収穫イベントを実施した。 学校給食における地産地消として、京田辺産の米、たけのこ、シロナ、白菜、大根、海老芋、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なす、天王の味噌に加え、平成23年度は一休寺納豆の使用を復活。特産物の使用を推進。 収穫イベントの実施により、栽培から収穫の体験を通じて、児童・園児に農業の大変さと栽培過程を学んでもらうことができた。 平成23年度は一休寺納豆の使用を復活し、特産物の使用を推進することができた。 |
| ☆4 | 子どもの医療費の助成 | 母と子の健康づくり支援、子育て環境の充実 心身を健やかに育む子育て環境の充実 | 通院及び入院に係る医療費の一部助成の拡大を実施し、子育て家庭への経済的支援を行う。 | 子ども福祉 | P73 P84 | 入院:654件 28,633千円 入院外:97,244件 144,556千円 H22年度に対象者拡大。H23においては利用件数が大幅に増加していることから、周知が徹底され、子育て家庭への経済的支援ができた。 |
| ☆5 | 児童虐待防止のパンフレットの配付 | 子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実 子どもの虐待防止対策の推進 | 市民の通告等により、虐待の早期発見・早期対応の充実を図るため、市民への啓発のためのパンフレットの充実。また、子どもに係わる仕事等をする人へもより知識を深めていただくため、マニュアルを作成し、配布する。 | 子ども福祉 | P74 P76 P89 | 「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭にて配布 2900枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 子どもSOSカード 小学3年生に配布 709枚、随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時 11月に児童虐待防止推進月間として、街頭啓発等を通じて市民や各種教育機関・子どもにかかる関係機関・商工会会員店舗等に子ども虐待予防啓発チラシを配布。また、子どもに係わる関係機関へより知識を深めていただくため、マニュアルを作成し、配布した。 |
| ☆6 | 子育てひろば事業 | 子育てに係る意識啓発及び情報提供の充実、心身を健やかに育む子育て環境充実 | 新たな地域子育て支援拠点として、あそびの広場、預かり保育、相談・交流事業、支援者養成講座の事業を通じて地域における子育て支援活動を展開する。 | 子ども福祉 | P74 P80 | 子育てひろばでふてふ利用者 9,675人(4~3月分) 開設から2年目となり、様々な企画の実施により利用者は増加しており、乳幼児を対象とした地域の子育て支援拠点として定着しつつある。 |

| | | | | | | | |
|-----|---------------------------|--------------------------|---|--------------|------------|---|---|
| ☆7 | ホームページによる情報発信の充実 | 子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実 | ホームページにおける子育て情報の内容の充実を図る。 | こども福祉 | P76 | 子育て支援事業、相談事業等を掲載 | 子育て家庭への情報提供のツールとして定着しており、各種の事業案内等の記事を掲載した。 |
| ☆8 | 地域子育て支援センター・子育てひろばからの情報発信 | 子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実 | 子育てひろばの開設により、子育てに係る情報を積極的に発信する。 | こども福祉 | P76 | てふてふだより1回/2か月・センターだより 1回/月(センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月) | 毎月、季節に応じた子育ての工夫やワンポイントや、事業掲載をしており、特に施設の利用者に情報提供のツールとして定着している。 |
| ☆9 | 子育て外遊びマップの発行 | 情報提供の充実、地域における子育て支援の推進 | 京田辺市の自然について生かした遊び場情報を子育て親子等に伝える為、外遊び情報誌の作成し、家族交流や仲間づくり等を促進する。 | こども福祉 | P76 P92 | 子育てマップ1000部印刷 市役所・子育て支援センターで配布 子育てあそびばマップは同志社大学のロームプロジェクトに応募し、プロジェクトでの作成運営が決定する | 子育てマップについて、1000部の増刷を行った。子育てあそびばマップは同志社大学ロームプロジェクトに位置づけ、学生主体でマップ作成を進められるよう行政が支援し共同実施の基盤を作った。 |
| ☆10 | 児童館における子どもとのふれあい体験事業 | 子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実 | 児童館において、児童・学童が乳幼児と触れ合う機会をつくり世代間の交流を図る。 | こども福祉 | P76 | (大住児童館) ・人形劇5月28日 乳幼児親子と小学生111人参加 ・マジック&ジャグリング8月24日 乳幼児親子と小学生64人参加 ・クリスマスミニコンサート・ハンドベル12月22日 乳幼児親子と小学生82人参加 ・アカベラ演奏会2月28日 乳幼児親子と小学生29人参加 ・絵本プロジェクト人形劇3月3日 乳幼児親子と小学生52人参加 | 各種の催し物を通じて時間を共有する中で自然な交流ができた。 |
| ☆11 | ファミリー・サポート・センター事業の推進 | 母と子の健康づくり支援、仕事と子育ての両立支援 | 通常の預かりに加えて、早朝・夜間等の緊急時の子どもの預かり等の拡大を図る。 | こども福祉 | P70 P77 | 【活動件数】2,561件【会員数】依頼(おねがい)会員 269人、提供(まかせて)会員 99人、両方(どっちも)会員27人。合計395人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成 | 全体の会員数としては達成しているが、(まかせて)会員の登録は少なかった。継続して周知を徹底する。 |
| ☆12 | 病児・病後児保育事業 | 仕事と子育ての両立支援 | 病後児の預かりに加えて、病児における預かり保育の拡大を図る。 | こども福祉 | P77 | 病後児保育 49人 希望者全員の受け入れができた。 | 病後児保育は実施しているが、病児保育については、実施に向けて医療機関との調整を開始した。 |
| ☆13 | 民間保育所の整備補助 | 保育環境の充実 | 老朽化に伴う安全性の確保、待機児童の解消を図るため、みみづく保育園新築移転について検討を行う。 | こども福祉 | P79 | みみづく保育園新築移転についての検討を行い、提供する市有地造成に係る測量・設計業務に着手した。 | みみづく保育園新築移転についての検討を行い、提供する市有地造成に係る測量・設計業務に着手した。 |
| ☆14 | 放課後子どもプラン | 子どもの居場所づくり及び多様な保育サービスの充実 | 児童が放課後を安全で健やかに過ごせる居場所づくりと地域との世代間交流を図る為、各小学校区等において体験学習等の事業を実施。今後は、全ての小学校区等に拡大する。 | 社会教育・スポーツ推進課 | P77 P83 | 年間実施日数 85日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,789人 | 放課後等における子どもの安全で健やかな居場所づくりとして野外活動センターと全小学校において実施することができた。参加人数は去年より112名増となり、活動内容とも充実できた。 |
| ☆15 | 第2次市男女共同参画計画の策定と事業の推進 | 男女の共同子育ての推進 | 新たな時代の要請に応え、目指す男女共同参画社会の将来像について計画策定するとともに、施策を総合的・計画的に推進する。 | 市民参画 | P78 | ・第2次京田辺市男女共同参画計画の事業の推進 ・第1次京田辺市男女共同参画計画の成果と課題まとめ | 第2次京田辺市男女共同参画計画に基づく施策実施初年度として、各施策を展開した。 計画掲載事業 138事業 うち平成23年度中に実施予定であった事業 126事業(残りの12事業は平成24年度以降に実施) 実施状況 実施 123事業(構成比97.6%) 未実施 3事業(構成比 2.4%) |
| ☆16 | 家庭支援推進保育事業 | 心身を健やかに育む子育て環境の充実 | 家庭において特に配慮を要する保育所児童に対する家庭支援し、家庭支援推進保育士を設置。 | こども福祉 | P79 | 公立4保育所に 各1名の保育士配置 | 公立4保育所に 各1名の保育士配置できた。 |

| | | | | | | |
|-----|--------------------------|------------------------------|--|-----------------|--|--|
| ☆17 | 保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善 | 〃 | 施設の維持管理及び公共施設における環境整備を計画的に行う。 | こども福祉教育総務学校環境整備 | P79 ○保育所 公立4保育所に、新たにチャイルドシートを購入した。 ○小学校 耐震補強工事に併せて、松井ヶ丘小学校屋内体育館の大規模改修工事を実施した。 三山木小学校増築に伴い、用地測量業務を実施した。 ○中学校 田辺中学校クラブボックス棟について改築工事を実施した。中学校空調設備設置設計業務を実施した。 ○幼稚園 大住幼稚園、薪幼稚園の園庭整備を実施した。 市立幼稚園、小学校、中学校空調設備設置検討業務を実施した。 | ○保育所 公立4保育所に、新たにチャイルドシートを購入した。 ○学校 学校の大規模改修事業や幼稚園の園庭整備を実施し、良好な学校教育環境の改善整備を計画的に行うことができた。 |
| ☆18 | 小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談 | 心身を健やかに育む環境の充実、子どもの虐待防止対策の推進 | 臨床心理士の資格を有するカウンセラーを配置し、学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化を図る。 | 学校教育 | P81 P89 小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人 | 有資格者のカウンセラーが、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 |
| ☆19 | 児童扶養手当 | ひとり親家庭への経済的支援 | 父子家庭に対する児童扶養手当を拡大し、児童の健全育成を図る。 | こども福祉 | P84 P86 支給実人員:415名(内 父子26名) 総支給額:193, 239, 120円 | 広報等で制度の周知を図り、窓口での案内を行った。 |
| ☆20 | ヘルパーによる訪問 | 子どもの虐待防止対策の推進 | 児童虐待が懸念される家庭に対し、児童の安全確保や虐待の悪化を防ぐ為にヘルパーを派遣し、家事・育児等の支援を行う。 | こども福祉 | P89 産後ヘルパー派遣 7人 (のべ17人) | 産後の育児の負担の軽減を図るヘルパーは派遣できた。 |
| ☆21 | 都市計画マスタープランの改訂 | 豊かな自然環境の活用と保全 | 今後の土地利用、交通網整備の基本方向、各地域のまちづくりの方針を定め、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりの視点で土地利用、都市整備及び管理体制の構築を図る。 | 都市計画 | P93 なし(平成22年度改訂完了) | 平成22年度にマスタープランの改訂がなされ、安全な道路空間創出のための歩道・緑道整備や交通安全施設の整備についての方針を記載し、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりの方針を定めた。 |
| ☆22 | きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 | 〃 | 環境施策を推進するため、パートナーシップ組織の環境保全活動を支援し、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進する。 | 環境 | P93 きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等) | きょうたなべ環境市民パートナーシップの活動を通じて、環境保全に関する啓発ができた。 |
| ☆23 | 緑の基本計画策定の見直し | 〃 | 緑地の適正保全緑化推進に関する施策を総合的に計画的に進め、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを図る。 | 施設管理 | P93 未実施 | 緑の基本計画は策定済みであるが、目標とする整備水準に達していないことから、当面、現計画を踏襲し、今後はマスタープランに付随し見直していく予定。 |
| ☆24 | 市民団体「京田辺エコパークかんなび」の支援 | 〃 | 市民団体の運営及び活動支援をつうじて、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進する。 | 清掃衛生 | P94 京田辺エコパークかんなびの活動(3R推進活動に関わる各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア、勉強会、見学会など)支援 | 京田辺エコパークかんなびの活動を通じて、「3R」推進に関する啓発ができた。 |
| ☆25 | 公園里親制度(アダプト制度)の普及 | 子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり | 地域の児童公園等における緑地の日常的な管理(抜根・除草)について、公園里親制度の普及を図り、市民が主体的に公園・緑地の日常的な維持管理に参画できる仕組みを構築する。 | 施設管理 | P94 里親制度モデル事業、田辺東幼稚園緑地緑化事業(H23.5.25/H23.12.8) 花の一休寺道緑化推進事業(H23.7.14) | 公園里親制度のモデル事業を継続実施しているが、市と市民がお互いの役割分担について協定を結び、継続的に美化活動を進める制度づくりが必要であり、平成25年度の実施に向けて準備を進めている。 |
| ☆26 | 保育所、幼稚園小・中学校の耐震補強等工事 | 安心・安全の生活環境の確保 | 耐震診断の基づき補強工事の実施 | こども福祉教育総務学校環境整備 | P95 ○保育所 必要な耐震補強工事は21年度で終了 ○小学校 田辺小学校給食室棟・中校舎棟、松井ヶ丘小学校屋内体育館、大住小学校渡り廊下について、耐震補強工事を実施した。 ○中学校 田辺中学校クラブボックス棟について、改築工事を実施した。 | ○保育所 必要な耐震補強工事は21年度で終了 ○学校 耐震化を実施することにより、児童・生徒が安全で安心して学べる学校環境を整備することができた。 |

*:22年度新規事業・・・2事業 *印は計画にはなく、平成22年度に取り組んだ事業

| | 事業名 | 施策目標・分野 | 内 容 | 担当課 | 記載箇所 | 23年度実績 | |
|----|---------------------|------------------|-------------------------------|----------|------|--|---|
| *1 | ヒブ・小児肺炎球菌予防接種費用助成事業 | 母と子の健康づくり支援 | ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン(任意接種)の費用を助成 | こども福祉 | — | 2か月以上5歳未満児を対象に、それぞれ1回から4回の接種費用を全額助成 ヒブのべ1,9284回 小児肺炎球菌のべ2,277回 | こんには赤ちゃん事業や、3か月健診での周知をはかり、相談の電話対応を行い助成事業の促進を図った。 |
| *2 | 子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業 | 思春期～青年期の健康づくりの支援 | 子宮頸がん予防ワクチン(任意接種)の費用を助成 | 健康衛生健康推進 | — | 中1～高1の女子を対象に、1人あたり3回接種の費用全額助成のべ3,192回 | 新規の対象者である中1女子全員に周知できた。継続対象となる中2～高1の女子には、広報及びホームページで周知し、助成事業の促進を図った。 |

*:23年度新規事業・・・2事業 *印は計画にはなく、平成23年度に取り組んだ事業(新規・掲載追加)

| | 事業名 | 施策目標・分野 | 内 容 | 担当課 | 記載箇所 | 23年度実績 | |
|----|----------------|---------------|--|-------------|------|--|---|
| *1 | 施設の安全対策(☆) | 安心・安全の生活環境の確保 | 民間木造住宅の耐震改修工事等の補助 | 開発指導 | — | 22年度繰越6戸 23年度13戸 | 耐震改修件数が前年度より大幅に増え、民間木造住宅の耐震化が促進された。 |
| *2 | 自転車通学用ヘルメットの貸与 | 安心・安全の生活環境の確保 | 自転車通学をしている中学生にヘルメットを貸与し、登下校時の安全確保に努める。 | 学校教育 学校環境整備 | — | 自転車通学をしている中学生にヘルメットを貸与し、登下校時の安全確保に努めた。ヘルメット115個(Mサイズ75個 Lサイズ40個)を購入し、対象生徒に貸与した。新1年生及び転入生に貸与していく。 | 学校の指導の成果もあり、貸与したヘルメットを装着して通学しているため、事故が起こったときの被害の軽減に寄与できた。 |